

ニュース

宮崎県農民組合連合会内
〒880-0911
宮崎市大字田吉158
TEL0985-55-0399
Fax 0985-54-5464

みんなの力を結集して 宮崎県を守ろう

「口蹄疫対策県民ネットワーク」は、6月16日に事務局団体で会議を行い、今後の活動を協議しました。

- 各団体に届いた要求・要望をネットに集約する事が決め、6月に寄せられた県民の声が紹介されました。
 - 食肉センターで働いていた労働者が6月をもって解雇された。
 - 遺伝子検査を宮崎県で出来るようにしてほしい。
 - ワクチン接種の牛・豚などは、殺処分しないと概算払いが行われないので、その前に概算払いを行ってほしい。
 - 口蹄疫発生後、獣医の診療が受けなくて母牛が死亡してしまった。これは、口蹄疫被害なのだから生きていた牛としての評価をして欲しい。
- 国・県・自治体への要請について。
 - 「口蹄疫発生に伴う解雇・失業の防止及び失業者救済を求める要望書」を宮崎県（対策本部）と宮崎労働局に要請することを決定しました。
- 口蹄疫の署名について。
 - 「口蹄疫の拡大が広がっている状況で、署名内容を決めるのは難しいのではないか」との意見もあり、もっと、要求・要望を集めてから内容を決める事にしました。
- 「口蹄疫110番」の設置。
 - 「口蹄疫110番」は6月17日に設置が決定し、曜日は（月曜日から土曜日）、時間は（9：00～21：00）まで対応する事にしました。 **TEL 0985-55-0399**
- 団体分担金について。
 - 各団体で協議してもらい、次の会議に決定する事にしました。
- ミヤチクとの提携について。
 - 6月17日に、ミヤチク（加工品部）の黒木部長と会う事を報告し、販売する商品に「義援金付き商品」にすることを決定しました。



「口蹄疫110番」

さっそく、口蹄疫110番に声が届きました。

- 飲食業で働いていた方から、7月いっぱい解雇通知が出されました。家族3人で、子供が大学に通っています。このままでは、生活が大変です。解雇された事はとても妻には伝えられない。今、職を探していますがなかなか見つからないと相談が寄せられました。

（ネットとして、宮崎労働局・県に対して労働者に義援金の活用を含めた新たな支援策を講じていくことを要請すると伝えました）

- 削蹄師の方から、今は防疫作業で日当を稼いでいるが、防疫の仕事がなくなったら本業の削蹄師の仕事が無い。国は助成などを考えてほしい。

記者発表

県農民連・宮商連・県労連・新婦人の代表6名で、6月16日（15：00）に県政記者室にて、「記者発表」を行いました。

6月6日に、設立総会を行い60名参加した事を伝えました。宮崎県の畜産と地域経済を守ることをネットワークの目的にしている事を発表しました。

記者側からは、「口蹄疫110番」「国・自治体との交渉」「ミヤチクとの提携」「今後の活動」などについて質問がされました。